



# 学校だより

令和5年9月号

発行 和田小学校

TEL 72-0138

## 注目されるモヤモヤする力

倍速視聴、まとめサイト等、効率性を高める「タイパ」が流行し、AIが質問に瞬時に答えてくれる生成AIが登場した現代。

効率性や問題解決を追求する風潮が強まる社会や学校では、結果が出ないとストレスを溜め込む、何でも答えを出そうとして疲れ切ってしまう等して「自分はダメな人間だ」と自己肯定感を下げってしまう状態は、現代社会を象徴する「生き辛さ」とも無関係ではないように感じます。

そのような中、真逆の概念が注目を集めています。それが「ネガティブケーパーティ（消極的受容力）」＝すぐに答えを出さず、迷ったり、悩んだりする「モヤモヤする力」こそ大切だという考え方です。

近年、ビジネスや医療、教育分野で研究が進み、幅広く取り入れられています。組織経営では、じっくり考え抜ける人が増えると「イノベーション（新たな発想による改革）」にもつながり、普段はテキパキしながらも、緊急時にはじっくりと立ち止まり考えることができる「リスクに強い組織づくりに役立つ」といいます。元プロ野球選手のイチローさんは「結果が出ない時、どういう自分でいられるかが一番大事」、作家の村上春樹さんは「即座に答えをだすというよりも時間をかけて深く考察することが求められている」など各分野のトップランナーも重視している考え方です。仏教の「煩惱即菩提」、ベストセラー「悩む力」などとも相通じるように思います。

## 一緒に考える取扱説明書

先日、福井市某フリースクール代表と懇談する機会がありました。ご自身の不登校経験から悩みを抱える子どもの居場所の必要性を痛感し立ち上げたとのこと。子どもの支援について伺う中で、「フリースク

ルは学校の代わりはできない。あくまで支援センターや学校へつなぐ役割。本来ないほうがよい場所。子どもが前を向けるよう『子どもの好き』を大事に、一緒に楽しみながら好きを増やすこと、こうしたらああしたらと追い込むのではなく、こういう方法があるよ、あそこはこんな場所だよ、こんな人がいて…と例を示しながら子ども自身で決めることを大事にしている。子どもにとって、どうしていいかわからない自分の取扱説明書を書いていくために一緒に考え話をしてくれる関わりや存在を心の底で求めている。関係者ができることはまだまだある。」と。今の社会や学校へ課題を突き付けられているような思いがしました。

私たち大人は「即座に無理に答えを見つけようとしなくてもいいんだよ、むしろ悩みの中にこそ、生きる意味があるよ」とエールを送りながら、どのように子どもに寄り添い関わっていくか、じっくり考え合うことが大事だと改めて気づかされました。



緊急時引き渡し訓練

新学期を迎え、新たな目標を見付け目を輝かせながら学校生活を送っている子どもがいる一方で、体調を崩すなど心身に不調をきたす子どもを見かけます。学校では、声をかけ話を聞く等し、ご家庭にお伝えするようにしていますが、ご家庭からの様々な困り事をスクールカウンセラーや相談員はじめ受け付けています。いつでもご相談ください。いっしょに考えましょう。

## わくわく、ドキドキ！ 親子ふれあい体験活動(9/16)開催

どの会場も、親子の助け合いや笑顔があふれ「楽しかった」との声がいっぱい聞かれました。講師やPTA役員の方々には、企画や準備、有意義な時間を提供していただきありがとうございました。



墨アート書



親子でレクリエーション



陶芸



牛乳パックで小物づくり



バルーンアート



フラワーアレンジメント



ヨガ



デコページュ(給食袋づくり)



染め物(巾着染め)



身近なもので電気づくり



トリックアート写真



### 10月の主な行事予定

- 3日(火) ビーチレクリエーション
- 9日(月) スポーツの日
- 14日(土) 和田地区祭礼
- 17日(火) 就学時健康診断(下校 13:10)
- 19日(木) 6年修学旅行(～20日)
- 26日(木) ビーチマラソン大会

下記のQRコードから学校の様子をご覧いただけます。ぜひご覧ください。



ホームページ



学校ブログ